

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.50
2013.7



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

北海道マリンビジョン21 促進期成会総会でコンテスト表彰

「北海道マリンビジョン21コンテスト」の表彰式が7月16日(火)、札幌市内のホテルで開催されました。式は、北海道マリンビジョン21 促進期成会総会の席上で行われ、総合部門で「北海道開発局長賞」を受賞した歯舞地区マリンビジョン協議会へ表彰状が贈られました。

事例報告では、歯舞漁協の平山信用部長が歯舞地区マリンビジョン協議会の取組事例を紹介。今後も『継続は力なり』をモットーに、ブランド発信、人事交流、観光振興に取り組みながら更なる地域振興を目指していきたいと、力強いメッセージを投げかけました。



<表彰状を受け取る平山信用部長>



<事例報告>



<期成会総会の様子>

トーサムポロの潮干狩り 家族連れ楽しむ

歯舞地区マリンビジョン協議会主催のトーサムポロの潮干狩りが7月13日(土)から始まりました。初日は晴天に恵まれ、家族連れを中心に約100人がアサリ掘りを楽しみました。

参加者はクマデやバケツを持って思い思いの場所でアサリ掘りを開始。次々と出てくる大粒のアサリにあちらこちらから「あった〜!」と歓声があがりました。子供たちもバケツいっぱいにとれたアサリに大喜びの様子でした。

今後の開催予定日は、8月6日(火)、7日(水)です。完全予約制で先着100人限定ですが、まだ若干の余裕があります。申し込み・問い合わせは、歯舞漁協漁業振興部まで。

(☎0153-28-2125)



<晴天に恵まれ潮干狩りを楽しむ家族連れ>

ソフトバンク本社で企業内マルシェを開催

根室おさかな普及委員会は、春サケ・マスPR事業の一環で、6月13日（木）、14日（金）の両日、通信大手ソフトバンクの本社ビル（東京）で「企業内マルシェ」を開きました。社員食堂で「トキシラズ定食」を提供したほか、根室産春鮭鱒の販売、歯舞漁協からは特産品や昆布しょうゆなどの歯舞ブランド品を販売しました。

昨年に続き2回目の試みですが、「昨年食べた根室のさんまは脂がのっておいしかった」といった嬉しい声も直接聞くことができ、大変有意義なPR販売となりました。



<ソフトバンク本社での販売>

歯舞中学3年生「ウニの人工授精実習」を実施

6月14日（金）、歯舞中学3年生18人を対象に、「ウニの人工授精実習」を実施しました。歯舞中学校の総合学習の一環として、地元の水産業への理解を深めることを目的に毎年行っています。

講師には、根室地区水産技術普及指導所 水野主査、歯舞漁協 漁業振興部 山田部長代理と高本職員の3名があたり、ウニの体の構造や成長過程、歯舞地区で漁獲されているエソバフンウニについて



<講義（左）と実習（右）の様子。生徒たちは熱心に取り組んでいます。>

講義後、ウニの人工授精の作業手順について説明があり、生徒たちは実際にスポットとスライドガラスを使って人工授精を行いました。

生徒たちは積極的に実習に取り組み、実習を通して一人ひとりが地域の産業について理解を深めることができました。

首都圏から移住体験 「ちょっと暮らし」を満喫

昨年実施した「移住体験モニターツアー」の参加者が、まだ根室市を訪れたことのない友人と共に来根しました。

参加したのは首都圏在住の6名で、瑤瑠瑠漁港での昆布船帰船の見学や、志和部会長宅での昆布干し見学及び体験、歯舞市場の見学などを行いました。

歯舞漁協食堂では地元産魚介類をふんだんに使った昼食を提供し、「すごく美味しかった」と大変好評でした。

この他、納沙布岬や北方原生花園などを散策して根室の自然や美しい景観を満喫した参加者たちは、根室での移住体験に非常に満足した様子でした。



<昆布干し体験>



<歯舞漁協食堂での昼食>

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

